

トラックドライバーの長時間労働の要因となるトラックバース問題を解決する方法

トラックバースで発生する4つの課題をどのように解決すれば良いかをご紹介します。トラックドライバーの長時間労働を解決するためにやるべき3つのこと（1：入退場の時間把握と受付の効率化、2：荷待ち時間、荷役作業時間の把握、3：予約管理による荷待ち時間の短縮）をわかりやすくまとめています。

[申し込みする>>](#)

トラックバースで発生する4つの課題とその解決策、やるべきことをご紹介します

トラックバースで発生し得る4つの課題

トラックドライバーの長時間労働の要因となる4つの課題を、トラックバースの課題の観点からご紹介します。

入退場トラックを把握できず稼働率やセキュリティの問題に不安がある トラックバースでは、稼働率やセキュリティの問題に不安がある。また、トラックバースの稼働率を把握できず、セキュリティの問題に不安がある。また、トラックバースの稼働率を把握できず、セキュリティの問題に不安がある。	トラックの稼働率が低く長時間待機や渋滞が発生している トラックバースでは、稼働率が低く長時間待機や渋滞が発生している。また、トラックバースの稼働率が低く長時間待機や渋滞が発生している。また、トラックバースの稼働率が低く長時間待機や渋滞が発生している。
トラックの受付に時間がかかる トラックバースでは、トラックの受付に時間がかかる。また、トラックバースの受付に時間がかかる。また、トラックバースの受付に時間がかかる。	ドライバーの稼働率の把握ができていない トラックバースでは、ドライバーの稼働率の把握ができていない。また、トラックバースの稼働率の把握ができていない。また、トラックバースの稼働率の把握ができていない。

1：入退場の時間把握と受付の効率化

車番認識による入退場管理とタブレットによる受付管理により、スムーズな入退と受付の効率化を実現



導入効果

- 滞在車両の自動管理
- 発生トラブルの削減
- 滞在料金の把握

主な目次

1. トラックバースで発生し得る4つの課題
 - (ア) 入場受付の効率化やセキュリティの課題の解決
 - (イ) 長時間待機や渋滞などの問題を解決
 - (ウ) トラックの受付・誘導の問題を解決
 - (エ) ドライバーの作業時間把握の問題を解決
 - (オ) 参考情報：ドライバーの作業分析ではどんな分析ができるか？
2. ドライバーの長時間労働を解決するためにやるべき3つのこと
 - (ア) 1：入退場の時間把握と受付の効率化
 - (イ) 2：荷待ち時間、荷役作業時間の把握
 - (ウ) 3：予約管理による荷待ち時間の短縮

[申し込みする>>](#)